

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	白山公園駐車場		
管理者名	公益財団法人新潟市開発公社	指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日
新潟市主管課	中央区役所建設課		
所在地	中央区一番堀通町1番地2		
根拠法令	都市公園法		
設置条例	新潟市都市公園条例		
施設概要	○白山公園駐車場施設 公園管理事務所、駐車場（A・B・C・D）、C駐車場トイレ、駐車場管理施設 ○駐車場付帯施設 空中庭園（1・2・3・4・5・6）、カスケードの庭及び浮き島周り通路、ブリッジ及び各階段 エレベーター、風除室、階段室、		

施設設置目的
都市公園内の駐車場施設及び附帯施設（空中庭園など）として、公園・周辺の公共施設の利便性を増進するため設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、都市公園の健全な発達を図り、公共の福祉の増進に資する管理運営を行うこと。 (2) 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。 (3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4) 利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5) 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8) 指定管理者制度を理解し、実践すること。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	提供サービスの情報発信	SNSによる情報発信を月1回以上(自主事業含む)	195件	A	利用者の増加を図るために、積極的に情報発信を行い、目標を大幅に達成した
	施設利用度	年間台数 300,000台以上	207,035台	C	前年度よりも実績が向上したものの、未だ新型コロナウイルスの影響を受け、大きく未達となつた
	自主事業の実施	設置目的に合致した自主事業を2回実施	空中庭園フェア、朝ヨガ教室、骨盤調整エクササイズ教室、イルミネーション、自販機設置、レンタサイクル、車いす貸出	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた空中庭園フェアを開するとともに、新たな自主事業を実施するなど、施設の魅力発信及び活性化に寄与した
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望については7営業日以内に回答	0件	B	
財務	利用1台あたりのコスト削減	利用1台あたりコストを840円以下	230円	A	大幅なコスト削減を実施した
	本市の収入	駐車場使用料 1億3000万円以上	47,603,500円	C	前年度よりも実績が向上したものの、未だ新型コロナウイルスの影響を受け、大きく未達となつた
業務	事件・事故発生時の対応の適切さ	人身事故 補償を伴う事故発生件数0件	0件	B	
	指定管理者制度の理解	指定管理者に関する研修受講者数年1人1回以上	企業コンプライアンス入門(eラーニング)、組織活性化リーダーシップ	B	
	業務仕様書等に定める事項・指標の遵守	その他業務仕様書等に定める事項・指標の遵守	老朽化の著しい設備類の人的フォローを行うことで施設の利便性及び利用者サービスの向上に努めた	B	
人材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	各種研修の実施件数 年1回以上(駐車場及び庭園管理)	救命救急	B	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていないければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・新型コロナウイルスの影響で全体的な台数、使用料ともに以前の水準にまで回復していない状況である。

・施設の供用開始から20年以上が経過していることから、駐車場管制機器を始めとする設備類の老朽化が著しく、依然として安全面や利用者サービスの低下が懸念されるため、保全計画などに基づき大規模な修繕を実施していく必要である。

所管課による総合評価(所見)

施設の管理運営は業務基準に基づき適正に実施されるとともに、施設が老朽化するなかで施設の維持と利用者サービスの向上に努めるなど、全体的に良好と評価できる。

一方、令和3年度も新型コロナウイルスの影響を大きく受けしており、施設利用度や本市の収入については、前年度よりも実績は向上しているが未だ大きく未達となっている。施設周辺のイベント状況により実績が大きく左右される施設特性があるものの、周辺施設とのネットワークを活かした広報やSNS等による積極的な情報発信、魅力的な自主事業の実施など、引き続き施設の利用増加に向けた取り組みを期待する。